

温故知新

故きを温ねて未来へつなぐ

清流

3月号

JCI MYOKO

発行 一般社団法人妙高青年会議所 事務局
〒944-0046 新潟県妙高市上町9番8号
上越ケーブルビジョン新井支局3階
TEL : 0255-72-5233 URL : <http://www.myoko-jc.jp>
FAX : 0255-72-1957 Mail : myoko-jc@extra.ocn.ne.jp

二月例会 & 通常総会



二月例会 & 通常総会

開催日…二月十日

会場…はねうまアリーナ

二〇二四年度の振り返りおよび総決算となる、二月通常総会を行いました。丸山直前理事長より、「団結」のスローガンの下、実施した各事業、取り組みが報告され、年初に掲げた「地域活性化事業の実施」「次代育成事業の実施」「会員拡大と資質の向上」「会員同士の交流促進」に対する成果が述べられました。各目標に対して、委員会により例会フリータイムおよび事業実施が計画・実施され、それらの最終報告がなされた形となりました。続いて二〇二四年度の決算報告の審議決をもつて年度の納めとなりました。

その後、バトンを渡された太田専務理事より、昨年末の次年度理事会において諮られた、二〇二五年度の組織図、収支予算等の年間計画が述べられ、全会一致で可決されました。今年度は各年間事業の他にも、妙高青年会議所設立五十周年を記念した祝賀会および記念事業が予定されており、既に実行委員会が組織され、七月の開催に向けた作業部会も始動しております。

本年も取組課題が盛り沢山で、忙しくも充実した一年となりそうです。会員一同、「温故知新」のスローガンの下、地域発展のための活動に取り組んで参る所存です。

総務委員会 宮本 正裕

公益社団法人日本青年会議所北信越地区新潟ブロック協議会

二〇二五年度新潟ブロックコンファレンス

開催日…二月二日
開催地…新潟グラランドホテル

二月二日新潟グラランドホテルにて、公益社団法人日本青年会議所・北陸信越地区の新潟ブロック協議会が主催する新潟ブロックカンファレンスに参加してきました。明るい豊かな社会の実現に向けて二〇二五年度も時代に必要とされる新たな方針をかけた、県内の青年会議所メンバーが一堂に会する機会に、各地の課題を解決するための方針を伝える場として開催されております。

式典では若桑ブロック会長の挨拶や県内各地の理事長紹介、そして北陸信越地区新潟ブロック協議会の役員挨拶と各委員会委員長からの事業説明などがありました。

その後の講演では二〇二二年度日本青年会議所第七十一代会頭の中島土先輩のセミナー【失敗だらけのJC人生くなぜ私はJCを選んだのか】を聞きました。JC Creedなども分かりやすく説明していただき、特に「人類の同胞愛は国家による統治を超越し」の一文にまつわるお話については、とても考えさせられる体験をお聞きし、改めてすごい団体に所属できているのだと誇りに思いました。

最後の懇親会では、他の青年会議所メンバーとの親交を深めながら、会員拡大についての情報交換などもでき大変有意義な一日となりました。

副理事長 小島 奨吾



新入会員拡大への熱い思い

本年度、未来へつなぐ会員拡大委員会の委員長を仰せつかりました町田です。一度は会員数が伸び悩み時代もありましたが、近年は会員拡大がその成果を得て、その数は増加傾向にあり、本年度は正会員数三十名でのスタートとなりました。そこに十名の会員増加を目指して活動してまいります。

本年度の目標は純粋な会員数の増加です。新しく会員が入会したとしても、その他の会員が退会してしまったり、休会したりしてしまえば、会員が拡大したとはいえないと考えます。そのためにメンター制度を取り入れ新入会員や入会歴の浅いメンバーのフォローアップに努めます。

もちろん新入会員の獲得に向けた取り組みも実施します。具体的には、会員候補者と現役メンバーが交流をできる機会を作ったり、候補者発掘のため、商工会議所や妙高青年会議所OBの方などと積極的に交流を図って情報収集に努めたり、現役メンバー全員が会員拡大に取り組むという意識づけを行ったりします。

今年創立五十周年という妙高青年会議所にとって節目の年でもあります。会員数が増加すれば、町のために展開できる事業規模も大きくなるので、今年度も会員の拡大に向けて一生懸命に取り組んでいきます。

未来へつなぐ会員拡大委員会

町田 涼太



妙高JCトピックス

MAHORA 西野谷

開業一年を迎えて「MAHORA」西野谷のこれまでとこれからについてお話しします。

二〇二四年に宿泊・交流の場として開業した「MAHORA 西野谷」が、今年四月で一周年を迎えます。ゼロからのスタートで、初めての宿泊業に戸惑いながらも、試行錯誤を重ねた一年でした。少しずつ国内外のお客様をお迎えし、古民家の温もりや地域資源を活かした体験を提供することに努めてきました。

当初想定したターゲット層とも一致し、グリーンシーズンは国内の方に里山体験、冬はインバウンド向けの長期滞在プランを展開。特に雪国ならではの除雪作業は苦労の連続ですが、ゲストにとっては貴重な体験となり、驚きの声をいただきました。

また地域とつながる場としてコミュニティスペースを活用したいと考えていましたが、運営や集客には課題が多く、思うように進まない部分も。妙高に移住して十年、地域にどう溶け込み、新たな価値を生み出すか、模索を続けています。

二年目は「滞在型観光」をさらに強化し、宿泊業にとどまらず新たな事業にも挑戦。「もう一つの故郷」と感じていただける宿を目指していきます。地域の皆様、お客様とともに新しい可能性を形にしていきたいと思しますので、ぜひ気軽に声がけください。

これからもMAHORA 西野谷をどうぞ宜しくお願い致します。



地域共生委員会

蔡 紋如

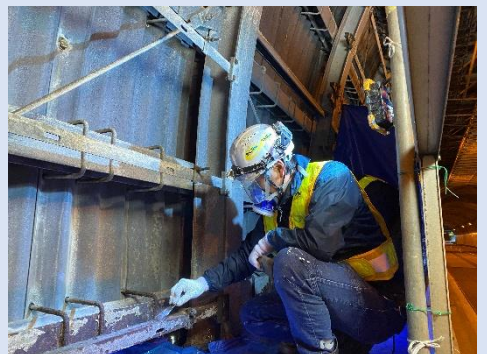
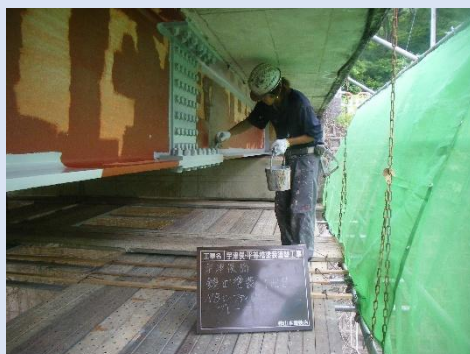
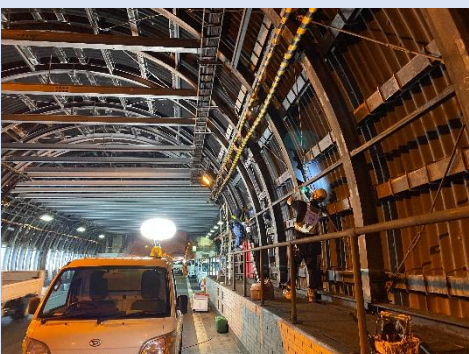
塗装業界の昨今

本年度監事をしております山本です。お題、【塗装業界の昨今】ということ、ざっくり現状と課題について述べたいと思います。

直近ですと埼玉県で道路が陥没し、周辺一二〇万人の方の生活に影響が及んだ事件がありました。これは氷山の一角であり、日本の社会資本ストックは高度経済成長長期に集中的に整備され、今後急速に老朽化することが懸念されています。一斉に老朽化するインフラを戦略的に維持管理・更新することが求められており、一例で橋梁についてお話しますと、新潟県は全国的にも橋が多い県であり、全国で九番目に多い約二万三〇〇〇か所余りの橋梁施設があります。そのうち補修が必要な橋梁は四〇八〇橋あまりで全国二位。補修が未実施な橋梁数はなんと全国一位となっております。経年劣化に加え、日本海による潮風及び豪雪地域特有の凍結防止剤による塩害も一因となり、急速に進行する橋の劣化が今非常に深刻な問題となっております。もちろん橋に限らずですが、人の手で建てたモノというのは必ず劣化していきます。

こと鉄に関していえば塗装は最もコストの良い延命方法でありますので、今後も社会のお役に立てるよう業界一丸となって安心安全な工事を心がけてまいります。

監事 山本 将之



3月 行事予定のご案内

日付	行事
11日（火）	例会＆フリータイム(1部)
14日（金）	正副理事長会議
15日（土）	例会＆フリータイム(2部)
21日（金）	理事会
29日（土）	会員会議所会議

新入会員募集中！

私たち一般社団法人 妙高青年会議所（JCI妙高）は、「明るい豊かな社会」を創造するために日々活動しています。地域のために沢山の「出会い」を通して、一人でも多くの若者たちと夢を語りながら、このまちが「豊かで活力ある」地域になることを信じます。

この活動をより広げ、地域に貢献する持続的な組織であり続けるためにも、共に汗を流してくれる仲間を募集しています。

お問い合わせは下記QRコードまたは「妙高青年会議所」で検索してください！あなたからのご連絡をお待ちしております！

2月例会出席率

三役会	66%
総務委員会	75%
妙高シティプロモーション委員会	50%
地域共生委員会	63%
未来へつなぐ会員拡大委員会	75%



青年会議所HP
「新入会員募集について」
にアクセスいたします。



3月

お誕生日の会員



築田 祥吾 君

1993年3月25日生
2024年 入会
Tsukuda&Co.(株)